

留学生からの質問



ジェレミー・
セプテンバーさん
(南アフリカ)

Q1) 将来、放射能の健康への影響を怖いと思いますか？放射能の影響は、すぐには出ないといわれています。ですが、将来、10年後、20年後のことはどうですか？

Q2) 避難者について、特に、原発の近くに住んでいた人は、他の県など、遠いところに避難したと思います。避難者は、帰還を決めるまでに、どのくらい待たなければいけないのでしょうか？決めるのは難しいことだと思います。私が特に聞きたいのは、なぜ、福島で避難生活が続いているのでしょうか？何か特別な理由があるはずです。県外に移住した人がいる一方で、福島で待ち続ける人もいます。避難している人にとって、どんな思い出があるのでしょうか？あなたにとって福島はなんですか？

中学生の回答

A) ジェレミーさん、こんにちは！質問ありがとうございました。

まず、「放射線の影響が怖いと思いますか」という質問に対して、僕たちのまとめた意見を答えます。僕たちの中には、怖い人と怖くない人がいて、「怖い」という人は、被ばくした人がいると聞いたことがあるし、避難している人も多いので怖いという意見がありました。「怖くない」という人は、何回も学校で放射線の検査をしているし、食べ物の検査もしているから安心だし、周りでも気にしている人が少ないので、まったく気にしていない、という意見がありました。

次に、「県外に避難している人もいるのに、なぜ福島にい続けるのか」という質問に対して、福島はふるさとだし、今の暮らしが一番よくて暮らしやすいし、県外に行ってもその先が自分に合うかどうかわからないし、福島でのたくさんの思い出があるからです。だからこそ、やっぱり自分が育った場所にいたいんだと思います。私たちの班では、全体的に「福島が好きだから、自分の育った場所で暮らしたい」という意見が多かったです。

留学生からの質問



リュウ・テイテイさん
(中国)

Q1) 福島では給食がきちんと検査されていていいなと思いました。それ以外の場合はどうしているんですか？

Q2) 将来、福島と県外の大学に行く機会があるとしたらどちらを選びますか？もし県外の大学に行ったとしても、就職は福島にもどってほしいですか。故郷に愛がありますか。

中学生の回答

A) テイテイさん、こんにちは！

1つめの質問の答えです。地震が起こったときは福島産は避けて食べていましたが、お店で出ているものは放射能の基準値を超えていないし、家で食べるものはまず初めにどこで採れたかを見て確認して食べているから、とても安全だから、今は気にせず食べている人もいますが、中にはやっぱり福島産は怖くて食べられないから他の県の食べ物を食べるという人もいます。

2つめの質問に対する答えです。県外の大学へ行き、いろいろな人と震災の事を話したり、触れ合ったり、学んだりしたいです。そして福島に戻って就職したいです。あと、「福島の子どもたちは、ずっと笑顔でいて欲しいです。積極的に生きて欲しい。」というメッセージが嬉しかったです。

「故郷に愛がありますか？」という質問に対する答えです。大学で学んだことを福島に戻ってきて、地元の復興に役立てていきたいです。

テイテイさん、さようなら～。

留学生からの質問



ニコラス・ウリスカさん
(ドイツ)

Q) 将来何をしたいですか？ 海外に行きたいですか？ 福島に住んで、復興に関わりたいですか？ 福島の復興に関わりたいといったとき、例えば、周りの人や、家族からの期待みたいな、国や社会からのプレッシャーを感じますか？

中学生の回答

A) ニコラスさん、こんにちは！

まず、「将来何になりたいか」という質問に答えます。将来の夢はバラバラで、福島で料理人や漁師、農業に関わる仕事や、都会で働きたいなど、さまざまな夢がありました。福島で働くときは、福島の放射線事情や福島の食材について知るべきということも書いてありました。

次に、「復興に関わる仕事につくときに、プレッシャーを感じるか」という質問に答えます。復興に関わることに、周りからのプレッシャーを感じるという人はいませんでした。自分たちのしたいことに何を言われても気にしないし、家族や友だちも復興にかかわる私たちを応援してくれるはずという意見もありました。

私たちもこれから福島の復興に関われるように頑張るので、ニコラスさんも頑張ってください。ばいばーい！